

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do） (5月中に記入)

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野		しごと分野		担当課		農林水産課			
	政策分野		地域産業		課長名		岩下 栄一			
	施策		10 水産業の振興		重点施策の該当		R4	—	R5	—
施策の目的	対象	水産業者		意図	所得を増やす 担い手(新規就業者)を増やす					

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
漁獲高(千円)	288,733	203,342	325,308 (385,835)	(396,242)	(413,500)	(431,280)
新規就業者数	3	8	7 (3)	(3)	(4)	(4)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
79.4	15.5	80.7	15.2						
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
77.2	-13.3	79.0	-18.9						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略 No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	6年度目標	7年度目標
漁場環境整備		漁獲高(千円)	288,733	203,342	325,308 (385,835)	(396,242)	(41,3500)	(431,280)
流通加工販売体制の整備(水産業)	1-2、2-3、14-34	鮮魚・活魚の移出(コンテナ数)	268	194	157 (285)	(290)	(295)	(300)
流通加工販売体制の整備(水産業)		魚食普及活動実施回数(回)	6	5	5 (5)	(5)	(5)	(5)
多様な担い手育成(水産業)	2-4	新規就業者数(人)	3	8	7 (3)	(3)	(4)	(4)
多様な担い手育成(水産業)		担い手漁師延べ人数	4	4	5 (4)	(5)	(6)	(7)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
・少子高齢化、自然環境の変化等による漁業経営体数及び漁獲量の減少 ・サメやウミガメなどによる漁獲物及び漁具等の被害増加 ・経年劣化による共同利用施設の老朽化 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による水産物の需要減少 ・世界情勢の変化に伴う石油製品価格の高騰 ・馬毛島での自衛隊基地関連整備に伴う漁場海域の制限及び漁業権の放棄	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成 果	・漁獲資源の増加のため、トコブシ稚貝の放流やイカの産卵場確保のためのイカ柴投入を実施した。 ・沿岸漁場の改善のため、ウニ駆除や転石、藻場造成の取組を実施した。 ・サメ等の水産生物による漁業被害を軽減するため、団体駆除を漁協青壮年部1回、住吉漁業集落2回、西之表漁業集落2回、国上漁業集落1回実施し、合計18尾のサメを駆除した。また、個人によるサメ駆除で175尾駆除した。 ・島内の魚食の推進を図るため、種子島高校の学生を対象に捌き方教室を実施した。 ・地元水産物の消費拡大のため、キビナゴ、飛魚、アオリイカ等の加工品を作成し、販売を実施した。 ・鹿児島大学水産学部へ委託した藻場造成の研究の結果、水中の栄養分を添加することにより、藻の成長促進につながることが分かった。 ・安城、久保田、大久保、上之古田の誘導灯の整備、浦田漁港の船舶台車の整備、洲之崎港及び住吉漁港の洗浄機の整備、上能野漁港の掲示板の整備、田之脇港の船舶台車の整備を行った。 ・漁業者の島外入出荷の際の運輸負担を軽減させることができた。 ・漁船の操業経費の軽減を行うことができ、操業意欲向上に繋がった。 ・魚価の支援を行うことにより、操業意欲向上に繋がった。 ・操業の効率化を図るため、GPSプロッターの更新、エンジンリモコンの導入、充電用発電機の更新、電動リールの導入の支援を行った。 ・漁業の流通改善を図るため、漁協の活魚水槽の更新、衛星電話の導入、モジャコ竿の更新の支援を行った。 ・操業意欲向上を図るため、共済加入の支援を行った。 ・新規漁業者の操業意欲を促進するため、漁船の補機の修繕の支援を行った。

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

現状・課題	・物価高騰を受けての漁業経費の支援 ・水産資源の維持・回復 ・漁業の担い手対策 ・有害動植物の効率的効果的な駆除方法 ・小組合再編を考慮した共同利用施設の改修 ・島内外に向けての魚介類の消費喚起、PR ・馬毛島における自衛隊基地関連整備での影響（漁獲量・漁業従事日数の減少）
今後の方向性	今後の方向性の根拠等（他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入）
継続・現状維持	・社会情勢の急激な変化による漁業者への影響を緩和するための支援に取り組み、経費負担軽減と操業意欲の向上を図る。 ・藻場造成、イカ柴産卵礁、稚貝放流など水産資源回復に向けた取組を進めるとともに、水産資源の維持・回復を図るための調査研究を進める。 ・漁場などの生息状況を調査し、地域に適合した漁業生産と環境整備を図る。 ・担い手不足が深刻化していることから、新規就職者を支援する人材確保対策に取り組む。 ・担い手となる漁業者に対し、操業の効率化を図る機器の導入を支援し、効率・効果的な漁具漁法により漁獲量の確保を目指す。 ・有害水産動植物の被害に対処するため、漁業者や漁業集落と連携し、効果的な対策の検討及び継続的な駆除活動を行う。 ・魚の消費拡大に向け、地産地消による魚食普及活動に取り組む。 ・漁業集落の施設は塩害等の影響等が大きく、劣化が進んでいることから、中長期的な計画をもって更新する。 ・水産物の海上輸送費の支援については、国の事業を活用しながら今後も継続する。 ・漁獲量が年度ごとに差が激しい状況にあることから、漁獲共済への加入を促進し所得の安定を図る。
②-2 政策部会による振り返り(Check) (6月中に記入)	
今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等（将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など）
継続・現状維持	【産業振興部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。